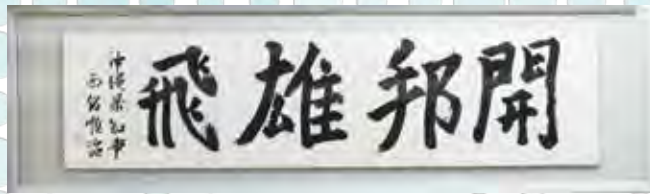


邦を開き世界に羽ばたく人材の育成

校訓「開邦雄飛」

「邦を開き世界に羽ばたく人材を育成する」という本校創立の理念を込め、当時（本土復帰後第三代）の沖縄県知事 西銘 順治 氏により書された語。その書は現在も校内で大切に保存されています。生徒達が県内のみならず国内外で活躍することを願い、2005(平成17)年に校訓として制定されました。



本校の概要

本校は「邦を開き世界に羽ばたく人材の育成」を図るため、沖縄県で初めて「理数科」・「英語科」・「芸術科（音楽コース・美術コース）」を置く特色ある進学校として、1986(昭和61)年4月に開校しました。校名は設立の趣旨に由来しています。

2016(平成28)年度に、中高一貫教育校として中学校が開校し、6年間の計画的・継続的な教育活動を展開することが可能となりました。

また、中学校設置と同時に、従来の「理数科」と「英語科」を統合した新たな学科「学術探究科」が設置され、「芸術科」と併せて、本県全域から集まる個性豊かな高い志を持った生徒達が切磋琢磨し、一人一人の進路実現を目指すことのできる学校です。

グラデュエーション・ポリシー <育成を目指す資質・能力に関する方針>

校訓「開邦雄飛」を具現化するため、次の資質能力の育成を目指します。

(1) 自己肯定感・自己効力感の高揚

自己理解を深め、様々なことに挑戦することで、自分のよさや可能性を認識する。

(2) 自走力の育成

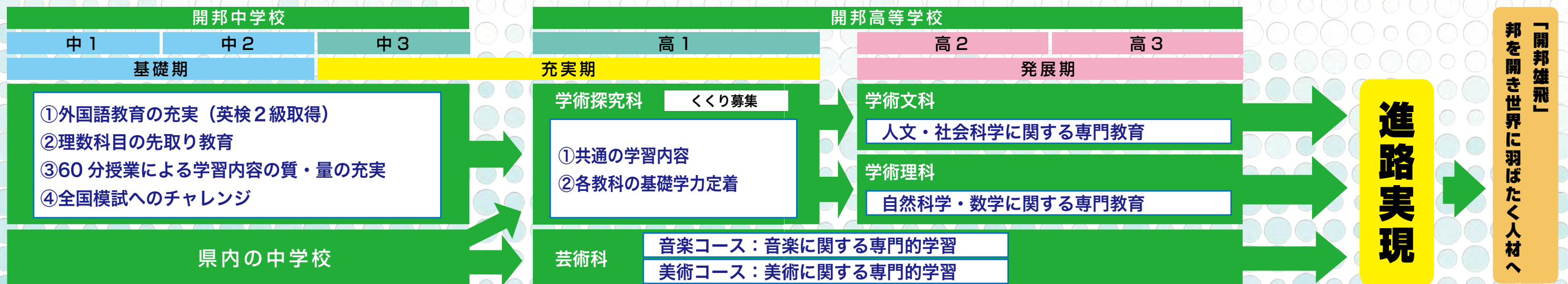
己を律しつつ自立し、個性に応じて将来の進路を実現するために自ら主体的に学習に取り組む力を育成する。

(3) 課題発見力・批判的思考力・創造力の育成

社会の発展のために、常に課題意識を持ち、特定した課題を分析して、幅広い視野から最適解を導くことのできる批判的思考力及び創造力を育成する。

(4) 探究力の育成

物事の原理や真理を探究し続け、本質的な学びに向かい続ける姿勢・態度・心情を育成する。



(5) 思いやる心の育成

高い規範意識と道徳性を養い、他者の立場に立って考え、その心情を尊重して行動できる力を育成する。

(6) 相互理解力の育成

郷土文化に対する誇りと他文化に真摯に向き合うことのできる教養を身に付け、多様な価値観や芸術・文化を重んじる豊かな感性及び国際性を育む。

アドミッション・ポリシー <入学者の受入れに関する方針>

本校の育成を目指す資質・能力や教育内容等を踏まえ、入学時に期待される生徒像。

- (1) 規則正しい基本的生活習慣（三点固定＜起床・就寝・学習の時間＞）を身に付け、健全な心と体を育み、自主的・自律的な態度で行動することのできる生徒
- (2) 高い志と向上心を持ち、自らの目標に向かって積極的な態度で様々なことに挑戦し、学び続けることのできる生徒
- (3) 自己と他者の理解に努めながら、互いの違いや多様性を受入れ、共によさや可能性を見出し、切磋琢磨することのできる生徒
- (4) 社会の一員としてルールやマナーを守り、感謝の気持ちと奉仕の精神を持って周りに関わることのできる生徒

学びを広げる主な取組

◎ 知見を広げる ⇒ 課題発見力・批判的思考力・創造力や探究力等の育成

総合的・探究的な学びにより、知見を広げる取組を行っています。

《中学》○県内外の企業・施設の訪問やオンラインを活用した学習

○沖縄の自然に触れる体験学習 等

《高校》○「文科探究」「科学探究」少人数のグループに分かれた研究活動

○課題解決・提案型のインターンシップ 等

◎ キャリアを広げる ⇒ 自己肯定感・自己効力感の高揚・自走力の育成

大学教授・専門家・芸術家等による豊富な講演会等のキャリアを広げる取組を行っています。

《中学》○社会人講話、卒業生（開邦高校生・社会人）による講話 等

《高校》○進路講演会（各学年）、探究学習講演会、創立記念日特設授業（同窓会主催）

○大学生（卒業生）を迎えてのパネルディスカッション 等

◎ 世界（視野）を広げる ⇒ 相互理解力の育成・思いやる心の育成

語学研修（中学）や海外研修（高校）等を通して、国際化・グローバル化に対応する資質能力を育成し、世界を広げる取組を行っています。



校訓碑